

議員協議会

令和8年4月13日
委員会室

1 開 会

2 理事者報告

- (1) 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて
- (2) 西脇市空家等対策計画について
- (3) 西脇市税条例の一部改正に係る専決処分について

3 協議事項

- (1) 議会運営委員長の報告

- (2) 各委員会からの報告
 - ア 文教民生常任委員会
 - イ 総務産業常任委員会
 - ウ 広報広聴特別委員会

- (3) 文教民生常任委員会課題懇談会報告

- (4) 各組合議会等からの報告
 - ア 北播衛生事務組合議会
 - イ 西脇多可行政事務組合議会
 - ウ 播磨内陸医務事業組合議会
 - エ 都市計画審議会
 - オ 氷上多可衛生事務組合議会
 - カ 北はりま消防組合議会

- (5) 議員研修報告
林議員「人口減少社会における地域の課題」

- (6) その他

4 その他

令和8年4月13日

議員各位

議会運営委員長

令和8年3月27日議会運営委員会の概要について（報告）

去る3月27日に開催しました議会運営委員会の内容につきまして、下記のとおり概要をまとめましたので、御確認くださいようお願い申し上げます。

記

1 協議事項

(1) 第114回6月定例会の日程等について

ア 日程

- | | | |
|---|------------|------------------------------|
| 5月26日（火） | 午前9時30分から | 議会運営委員会 |
| 29日（金） | 午前9時30分から | 議案説明会 |
| 6月2日（火） | 午前9時30分から | 議員協議会 |
| | 午前10時00分から | 本会議（第1日） |
| <u>《本会議終了後、資料請求打合せ》</u> | | |
| 3日（水） | 正午 | 議案質疑通告締切・定期監査結果報告書に対する質疑通告締切 |
| 8日（月） | 午前10時00分から | 本会議（第2日） |
| 11日（木） | 午前9時30分から | 文教民生常任委員会 |
| 12日（金） | 午前9時30分から | 総務産業常任委員会 |
| 15日（月） | 午前9時30分から | 予算常任委員会 |
| 16日（火） | | 委員会予備日 |
| | <u>正午</u> | <u>一般質問通告締切</u> |
| 18日（木） | 正午 | 討論通告締切 |
| <u>（一般質問の通告数等により、午後1時30分から議会運営委員会を開催）</u> | | |
| 23日（火） | 午前9時30分から | 議員協議会 |
| | 午前10時00分から | 本会議（第3日） |
| 24日（水） | 午前10時00分から | 本会議（第4日） |
| 25日（木） | | 予備日 |
| 29日（月） | 午前9時30分から | 議会運営委員会 |

イ 会期

6月2日（火）から6月25日（木）までの24日間

(2) 第 113回 3月定例会の反省等について

ア 議会答弁にかかる生成A Iの利用について

- 理事者の議会答弁におけるインターネットや生成A Iによる情報を引用することの是非、また過去の申し合わせ事項の取扱いについて、改めて整理・見直しが必要ではないか。

➡ 【再確認】

議会の発言に当たっては、インターネットや生成A Iの活用自体を否定するものではないものの、その内容を十分に確認し、自らの責任において発言すること、また「インターネットによると」等の表現は用いない。

イ 討論の在り方について

- 委員会において討論を行っていないにもかかわらず、本会議において反対討論がなされ、委員会での賛否態度と異なる対応が見られた事例や討論を行わないまま反対の意思表示がなされた事例、さらに、委員会において十分な意見表明がなされないまま、「理由は本会議で述べる」との発言にとどまるケースなどが見受けられた。

➡ 討論は本来、議案に対する自己の賛否を明らかにし、意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努める重要な機会であることから、その趣旨を十分に認識し、委員会及び本会議の双方において、責任ある発言に努め、適正な討論を行う。

➡ 【再確認】

討論では議案名全てを述べず、議案番号のみに省略すること。

ウ 本会議における議長の議事運営について

- 特定の議員に対して発言を制止するかなのような対応が見られ、中立公正を欠いたのではなかったか。

- 一般質問において行われた休憩の取扱いについても、これまでの慣例では議長の判断により休憩を取ってきたところ、今回、休憩を動議として取り扱ったことについては、運用上の混乱を招いたのではないか。

➡ 議長は、中立公正の立場に立ち、議員間で差異があると受け取られることのないよう配慮しつつ、議員の発言権を最大限尊重した議事運営に努めるべきであり、また議事が混乱した場合には適切に休憩等を活用し、円滑な進行に努めていただく。

(3) その他

ア 西脇市議会情報セキュリティ基本方針（案）について

➡ 方針に規定されている「組織体制の確立」については、当面は議会運営委員会がその役割を担うこととしつつ、将来的な体制整備については検討が必要

イ 陳情の取扱いについて

- 3月18日に受理した「アメリカ軍、イスラエル軍による爆撃、イラン軍による周辺諸国への攻撃を直ぐ停止し、外交による平和的解決を求める陳情」

➡ 総務産業常任委員会で審査

西脇市保育協会との課題懇談会 報告書

開催日時：2026年1月26日（月）13：30～15：11

開催場所：西脇市役所 委員会室

出席者：

<西脇市保育協会>

伊達恵一（西脇こども園長） 笹倉泰彦（比延こども園長）
藤尾茂雄（どれみこども園長） 閑念智志（日野こども園長）
宮崎宣代（かすがこども園長） 松本 浩（つまこども園長）
仲田保弘（芳田こども園長） 荻野隆之（黒田庄こども園長）

<文教民生常任委員会>

藤原秀樹委員長、藤原哲也副委員長
林 晴信委員、村岡栄紀委員、吉井敏恭委員
森脇久夫委員、巽 泰委員、藤本留実委員

1 趣旨

西脇市に若い人に住んでもらうためには、安心して子供を預けられる環境（保育）が欠かせない。そのため、現場の園長先生たちの懸案事項を議会と共有することを目的とする。

2 保育園が困っている「5つのポイント」

- (1) 市内にある8つの「認定こども園」で、先生たちの給与表を統一した。運用にあたっては、専門的な知見を要し、各園単独で実施するには困難を伴うことから8園一括で業者に委託している。この業者への委託費用を支援してほしい。
- (2) 子供たちの健康を守るための検査に、先生たちの予防接種などの費用を加えて補助してほしい。
- (3) 古くなった建物の修理代が足りない。建ててから20年以上経つ園もあり、エアコンの修理に2,000万円かかるケースもある。将来、建て替えが必要になった時のために、お金を貯めていく余裕がない。
- (4) 保育士を集めるのが大変、全国的に保育士が不足している。西脇市で働いてくれる保育士を増やすために、市独自の手当を増やして「西脇市は保育士を大切にすまちだ」とアピールしたいと考えている。
- (5) 「こども誰でも通園制度」の赤字問題、国が新しく始める「こども誰でも通園制度（仕事をしていない親でも子供を預けられる仕組み）」は、準備や人手にお金がかかり、今のままだと赤字になってしまう。これを市でサポー

トしてほしい。

3 各保育園長たちが伝えた「現場のリアル」

市内の各園長からは、以下のような意見が出ました。

(1) 子供の家庭環境の変化

スマートフォンに夢中で子供と向き合えない親や、子育てに不安を抱える家庭が増えており、園でのサポートがより重要になっている。

(2) 専門家の力が必要

保護者の心のケアをする「臨床心理士」などの専門家に、もっと園に定期的に来てもらい、アドバイスをしてほしい。

(3) 少子化の影響

子供の数がどんどん減っている。将来、先生が余ってしまう心配もあり、園同士でどう協力していくかが大きな課題

(4) 地域の拠点へ

園にただ子供を預かるだけの場所ではなく、地域みんなが集まれる「子育ての相談場所」にしていきたい。

4 これからの展望

現場の深刻な状況がよくわかった。今回出た課題（専門家の確保や修理費など）を委員会で検討をし、行政に提言していきたい。

北播衛生事務組合議会定例会（報告）

令和8年4月13日

馬場 智大

日時 令和8年2月6日 午後2時

場所 北播衛生事務組合南部衛生公園 会議室

担当議員 馬場智大 藤原秀樹 林 晴信

【協議事項】

(1) 北播衛生事務組合議会副議長の選出について

指名推選により、西脇市議会の林晴信議員が副議長に選任

(2) 組合議会提出案件について

●議案第1号 令和7年度北播衛生事務組合一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ 5,097千円を減額し、歳入歳出の総額を 296,400千円とする。

○増減の主な要因

- ・令和8年度設置予定の遠心脱水機回転体の予備機購入額のその一部を一般廃棄物処理事業債に記載しており、当初は限度額で記載していたが、契約により購入額が確定したため、記載充当額の精査によって歳入予算の減額
- ・人事院および兵庫県人事委員会による給与勧告を踏まえ、会計年度任用職員の報酬および給与等を増額
- ・公用車購入額確定に伴う精査および減額
- ・令和8年度施工予定のスポーツ公園利用にかかるトイレなどの付帯施設工事の設計委託料の追加に伴う増額

全員賛成で原案のとおり可決

●議案第2号 令和8年度北播衛生事務組合一般会計予算

歳入歳出の総額を 259,676千円とし、前年度と比較して36,405千円の減額

○主な内容

し尿および浄化槽汚泥の処理、施設運営管理、及びスポーツ公園の維持管理に要する経費

○前年度に比べての減額の主な要因（別紙参照）

施設管理費用の需用費修繕料や工事請負費において新たに修繕・新設する施設等が増額要素となるが、施設運転管理業務委託料の減額と令和7年度で計上していた公用車と備品購入費については、令和8年度は計上していないため、総額としては減額

全員賛成で原案のとおり可決

●議案第3号 北播衛生事務組合スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

○改正理由

スポーツ公園内の施設を区分し、近年の物価等の上昇に応じたものに価格を改定するため。

○改正内容

北播衛生公園スポーツ施設の施設区分の追加、及び使用期間の延長と施設区分および料金の改定

全員賛成で原案のとおり可決

●議案第4号 北播衛生事務組合職員の定年等に関する条例を廃止する条例の制定

○廃止理由

地方公務員法改正(令和3年法律第63号)による定年延長等の新制度について、北播衛生事務組合は加東市の条例を準用する仕組み(令和2年条例第2号)を採用しているため、組合独自の定年条例が不要となり廃止するもの。

全員賛成で原案のとおり可決

令和8年度 予算書概要

北播衛生事務組合

歳入歳出額

259,676千円 (昨年度 296,081千円)

(単位：千円)

【歳入】

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	昨年度比
分担金及び負担金	195,144	243,065	172,163	194,684	189,020	247,034	245,906	-1,128
使用料及び手数料	18,193	18,193	18,193	18,193	18,193	13,739	13,410	-329
財産収入	8	8	3	3	3	3	6	3
繰越金	100	100	100	100	100	100	100	0
諸収入	17	17	107	107	205	205	254	49
組合債	134,800	459,900	0	0	0	35,000	0	-35,000
合計	348,262	721,283	190,566	213,087	207,521	296,081	259,676	-36,405

構成市負担金額

負担額 (経常費・公債費・特別経費) 推移

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	昨年度比
西脇市	47,371	48,273	41,136	43,931	41,973	49,239	48,851	-388
小野市	58,036	60,873	53,637	62,854	66,224	84,131	81,169	-2,962
加東市	74,730	82,803	76,629	86,686	76,384	95,811	98,039	2,228
特別経費	0	0	761	1,213	4,439	17,853	17,847	-6
合計	180,137	191,949	172,163	194,684	189,020	247,034	245,906	-1,128

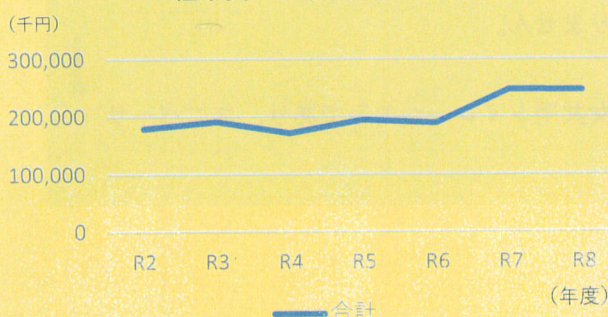
★特別経費 (一般廃棄物処理事業債 普通交付税) は加東市に交付されるため、加東市の負担金で精算します。

負担額 (建設経費) 推移

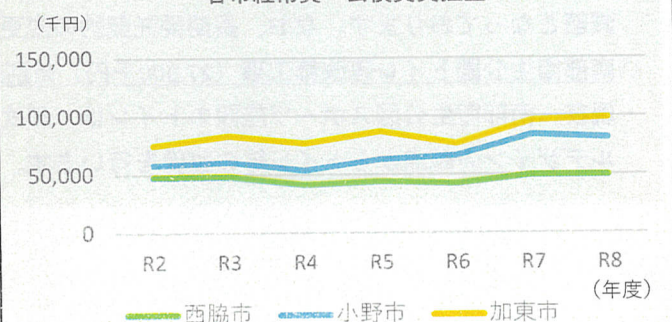
(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	昨年度比
西脇市	4,132	13,778	0	0	0	0	0	0
小野市	5,292	17,909	0	0	0	0	0	0
加東市	5,583	19,429	0	0	0	0	0	0
合計	15,007	51,116	0	0	0	0	0	0

経常費・公債費負担金合計



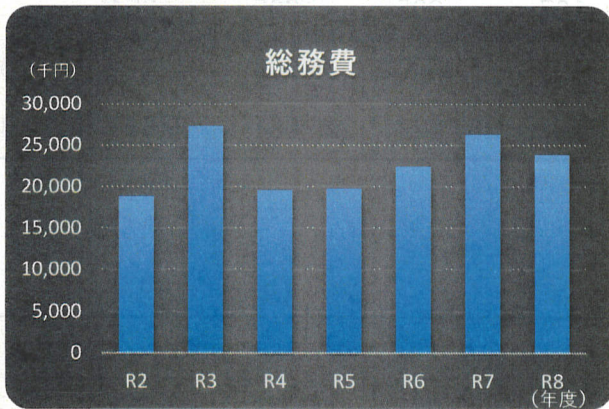
各市経常費・公債費負担金



【歳出】

(単位：千円)

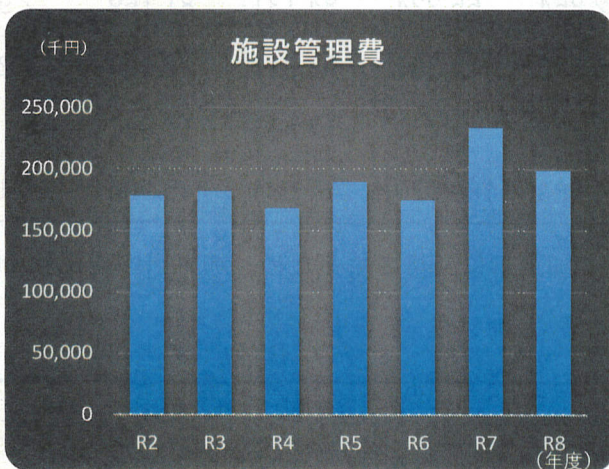
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	昨年度比
議会費	214	214	214	214	214	214	214	0
総務費	18,821	27,228	19,550	19,740	22,348	26,227	23,801	-2,426
施設管理費	178,420	181,825	168,077	189,488	174,721	233,448	198,669	-34,779
施設建設費	149,807	511,016	0	0	0	0	0	0
公債費	-	-	1,725	2,645	9,238	35,192	35,992	800
予備費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0
合計	348,262	721,283	190,566	213,087	207,521	296,081	259,676	-36,405



総務費 年度別の主な内訳

- ・令和3年度は、下水道の受益者負担金(4,713千円)を支払ったため、一時的に増加しております。
- ・令和7年度は、備品購入費及び修繕料が主な増額の要因です。

公用車（電気自動車）の購入(3,112千円)
電気自動車充電設備の設置修繕(600千円)



施設管理費 年度別の主な内訳

- ・令和3年度は下水道放流に伴い、上下水道料金(14,554千円)が増額、薬品使用量の見直し等により運転管理委託費(△10,857千円)が減額となっております。
- ・令和4年度は焼却設備廃止による委託料(△1,750千円)の減額、改修工事後の修繕料(△35,277千円)の減額となっております。
- ・令和5年度はトラックスケールの修繕(16,170千円)が増額となっております。
- ・令和7年度は遠心脱水機回転体購入による備品購入費(46,750千円)が増額となっております。

施設管理費 令和8年度の主な増減額要因について（前年度比）

- ◎施設運転管理業務委託（長期継続契約（5年））における計画修繕の減額（△19,800千円）※別紙
 - ・施設の各設備は、5年間の修繕計画をもとに整備を行っており、当計画に基づき整備費が19,800千円減額となっております。なお、長期委託契約の変更はありません。
- ◎南部衛生公園トイレ等改修工事（27,000千円）※別紙
 - ・現在、南部衛生公園スポーツ施設のトイレは、和式の男女共用トイレ一つのみであり、ユニバーサルデザインの観点からトイレ等の整備を行います。

南部衛生公園施設運営管理業務委託（長期継続契約）について

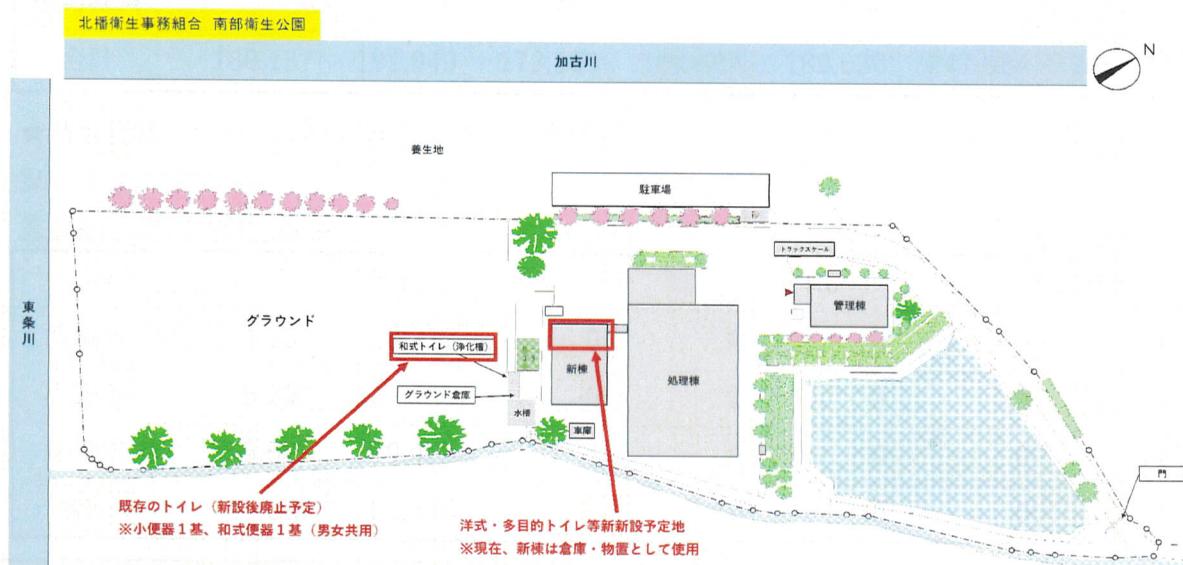
5年間の長期継続契約において、長期整備計画に基づく定期的な設備等の整備を行っており、主要設備である汚泥脱水機の整備（3年に1度）を含む各設備の整備頻度の違いにより年度ごとの修繕料は大きく増減します。

南部衛生公園 長期（5年間）施設運営管理業務委託（令和6年度～令和10年度） （千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	5年間 合計
運営管理業務費	127,655	127,655	127,655	127,655	127,655	638,275
修繕費	41,855	57,145	37,345	38,665	58,465	233,475
合計	169,510	184,800	165,000	166,320	186,120	871,750
前年度比	-	15,290	△ 19,800	1,320	19,800	

- ※1. 運営管理業務費は5年間の平均を各年度に計上
- ※2. 各年度の修繕費は当初予算額を計上

南部衛生公園トイレ等改修工事について



第140回西脇多可行政事務組合議会定例会（報告）

報告者 藤原 哲也

- 1 日時 令和8年2月12日（木） 10:00～
場所 みどり園 会議室
出席理事者 片山市長（管理者）、吉田市長（副管理者）、藤原副市長（副管理者）
出席議員 吉井敏恭（議長）、浅田康子、森脇久雄、長谷川智春、藤原哲也
（多可町）3名 合計8名

本会議において、新ごみ処理の完了に伴う議案および令和7年度補正予算、令和8年度当初予算、西脇多可休日急患センターの指定管理者を含む議案5件について審議しました。

2 議案第1号：事務局設置条例の一部を改正

新ごみ処理施設の完成に伴う組合事務所の移転に対応するため、条例上の所在地表記を改正するものです。

- ・改正内容：事務所所在地を「西脇市」から「多可郡多可町中区奥中980番地25」へ移転することに伴い、条例第1条の住居表記を削除。

理由は、組合規約に住所は変更し記載されるので設置条例では削除する。

※全員賛成で可決

3 議案第2号：北播磨リサイクルプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正

事務所移転に合わせ、同施設を新ごみ処理施設（管理啓発棟内）へ移転し、運営を一部変更

- ・位置の変更：多可郡多可町中区奥中980番地25へ変更
- ・休館日の追加：組合の休日に合わせ、新たに「土曜日」を休館日に加える。

※全員賛成で可決

4 議案第3号：令和7年度 一般会計補正予算（第2号）

人件費の確定や事業費の不用見込み等を整理し、歳入歳出をそれぞれ139,468千円減額し、総額を8,598,320千円とするものです。

- ・主な歳出補正：
- ・事務局費：実績見込みによる人件費等の減額（▲618千円）
- ・介護、障害認定審査会費：委員報酬や人件費の減額（▲4,110千円）
- ・新ごみ処理施設整備費：工事請負費等の実績見込みによる減（▲91,356千円）

※全員賛成で可決

5 議案第4号：令和8年度 西脇多可行政事務組合 一般会計当初予算

令和8年度の予算総額を1,592,392千円（前年度比減▲7,110,526千円）と定めるものです。

①主要な歳出項目

- ・総務費（60,536千円）：事務局および事務管理棟の管理運営。
- ・民生費（61,296千円）：介護・障害認定審査会の運営。
- ・衛生費（保健衛生：217,375千円）：休日急患センター運営および斎場（やすらぎ苑）の指定管理・維持管理
- ・衛生費（清掃：1,060,248千円）、新ごみ処理施設（エネルギー回収施設）の運営管理委託料（391,283千円）。
- ・中間処理施設解体管理（新規）：旧施設の解体に向けた調査経費（68,068千円）
ごみ収集：西脇市（南部）および多可町（北部）の収集業務、車両購入費（2台）。
公債費（187,508千円）：施設整備に係る組合債の元利償還金。

②主要な歳入項目

- ・市町負担金：1,195,321千円（全体の約75%）。
- ・使用料・手数料：275,728千円（斎場使用料、指定ごみ袋手数料等）。
- ・諸収入：21,133千円（資源化物売却収入等）アルミ等。

③債務負担行為

- ・休日急患センター指定管理料、旧施設解体設計業務、ごみ収集車両購入費について、次年度以降の支出となっている。

【委員より質疑】

旧みどり園の解体に向けた工事を予定されていることは伺ったが、令和8年度の予算で土壌調査の予算も上がっているが、地元住民への説明会の予定と解体工事スケジュールを質したところ、地元（日野町、富吉上、富吉南）と説明会は予定している。また、今後のスケジュールは、令和10年度から2年間の工事を考えている。

※全員賛成で可決

6 議案第5号：西脇多可休日急患センターの管理に係る指定管理者の指定について

西脇多可休日急患センターの管理に係る指定管理者 西脇市多可郡医療協会に管理を行わせる期間、令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

※全員賛成で可決

以上

第 153 回 播磨内陸医務事業組合議会定例会 報告書

報告者： 巽 泰

【日時】 令和 8 年 2 月 12 日

【場所】 播磨看護専門学校

1 諸般の報告

事務局長より、前回定例会以降の状況について報告があった。

まず、令和 8 年度入試結果について、指定校推薦・一般推薦・社会人入試を合わせて 22 名が合格し、前年より 9 名増加したとの説明があった。

次に、一般入試については出願 8 名のうち 7 名が合格し、そのうち 3 名が辞退したため、現時点での入学予定者は 4 名であるとの説明があった。推薦入学者と合わせると、現時点での入学予定者は 26 名となっている。

続いて、就職内定状況について、卒業予定者 35 名のうち 29 名が内定しており、内定率は約 80% で前年より 7.3 ポイント上昇しているとの報告があった。

また、人事については、管理者が西脇市から加東市へ変更となること、学校長が西脇病院長へ交代となることが説明された。

2 同意第 1 号 監査委員の選任

管理者より、監査委員の選任について説明があり、組合議会議員の中から吉井敏恭議員を選任したい旨の提案がなされた。

本件は人事案件であることから質疑及び討論は省略され、採決の結果、全員一致で同意された。

3 第 1 号議案

令和 7 年度 播磨内陸医務事業組合一般会計補正予算（第 2 号）

事務局長より提案説明があり、今年度の執行状況及び今後の見込みに基づき補正を行うもので、歳入歳出それぞれ 229 万円を減額し、総額を 1 億 6,550 万 2,000 円とするとの説明があった。

歳入については、分担金の減額や入学手数料の減少、修学資金返還による増額などが説明された。

歳出については、講師謝礼、旅費、委託料、工事請負費、備品購入費の減額のほか、負担金の増額について説明があった。

議長より質疑が求められたが、質疑はなく、討論もなかった。

採決の結果、本議案は全員一致で原案のとおり可決された。

4 第2号議案

令和8年度 播磨内陸医務事業組合一般会計予算

事務局長より提案説明があり、歳入歳出総額を1億6,101万5,000円とし、前年度比200万8,000円の増額となるとの説明があった。

増額の主な理由として、人件費の増加、負担金の増加、学校創立50周年事業、物価上昇等が挙げられた。

歳入では、分担金、授業料、県補助金等の内訳が説明され、歳出では人件費、委託料、備品購入費、負担金などの内訳について説明があった。

質疑において、大城戸議員より研修旅費について、年間の研修回数及びリモートと対面の内訳について質問があった。

これに対し副校長より、年間5回程度の研修を予定しており、状況に応じてオンラインと対面を併用しているとの答弁があった。

その後、他に質疑はなく、討論もなかった。

採決の結果、本議案は全員一致で原案のとおり可決された。

日時 令和8年2月13日 午後2時～

場所 市役所2階 委員会室

出席者 藤本留実、杉本佳隆、高瀬弘行、林晴信、寺北建樹

1. 審議事項

議案第2号（諮問第2号） 西脇市立地適正化計画の改定について

（主な改定内容）

① 都市機能誘導区域について

（都市機能誘導区域 A）

- ・ 東の拠点整備の進捗状況と西脇上戸田線、西脇三田線、和布郷瀬線の今後の取組を見据えた変更

（都市機能誘導区域 B）

- ・ 文教地区に位置づけられているエリアとして、放課後児童クラブを誘導施設とする

② 防災指針について

- ・ 都市再生特別措置法の一部改正に伴い、防災指針を計画に反映するため

（採決）

* 挙手全員により、原案通り可決される

2. 協議事項

（1）東播都市計画下水道の変更について

- ・ 近々の開発等が予定されている平野町、高松町、合山町のそれぞれ一部を排水区域として追加

（2）特別指定区域の指定申出（素案）－西田地区－について

- ・ 旋盤工場（300～400 m²）を予定

（3）区域区分廃止に向けた主な検討状況について

① 廃止後の基本的な考え方

- ・ 「線引き都市計画区域」から「非線引き都市計画区域」とし、「県主体」から「市主体」の土地コントロールとする。
- ・ 「市街化区域」については、「用途地域」とし現在の同様の扱いとし、「市街化調整区域」については、「特定用途制限地域」とし、特定の用途の建築物を制限する。

② 開発行為の対象規模の変化について

- ・ 区域区分廃止後の都市計画において、開発許可対象面積が1,000 m²から3,000 m²に変更になるため、線引き時と同様の新たな土地コントロールを図るため、市主導による自主条例の制定を行う。

令和8年4月13日

第247回 氷上多可衛生事務組合議会報告

報告者：森脇 久夫

1. 第247回定例会

(1) 日時：令和8年2月20日（金）午後2時18分～

(2) 内容：

① 議案第1号 令和8年度氷上多可衛生事務組合一般会計予算

- ・ 予算総額 257,646千円（前年度比 5,846千円増）
 - ・ 分担金及び負担金総額 239,895千円（前年度比 5,852千円増）
 - 内、2市1町の負担金額 丹波市 180,111千円（対前年度比 4,955千円増）
 - 西脇市 10,610千円（対前年度比 1,722千円減）
 - 多可町 49,174千円（対前年度比 2,619千円増）
 - ・ 汚泥投入手数料総額 15,675千円（前年度比 310千円減）
 - 内、2市1町の手数料総額 丹波市 11,960千円（対前年度比 157千円減）
 - 西脇市 673千円（対前年度比 61千円減）
 - 多可町 3,042千円（対前年度比 92千円減）
 - ・ 公債費 32,694千円（対前年度比 245千円減）
 - ・ 財政調整基金残高 205,038,487円（令和8年1月末時点）
- ※ 全員一致で可決

3. 今後の主な予定

- ・ 南桃苑運営審議委員会 令和8年7月7日（火）午前10時30分～
地元自治会への運営状況の報告
- ・ 第248回定例会 令和8年10月13日（火）午後1時30分～
- ・ 第249回臨時会 令和8年12月28日（月）午前10時00分～
- ・ 第250回定例会 令和9年2月18日（木）午後1時30分～

以上

第56回北はりま消防組合議会定例会報告書

1 会議の概要

- (1) 会議名 第56回北はりま消防組合議会定例会
- (2) 開催日時 令和8年2月25日
議員協議会 午後1時 定例会 午後2時30分
- (3) 開催場所 北はりま消防組合議場
- (4) 出席議員
加西市議会 大前裕也議員、丸岡弘満議員
加東市議会 大畑一千代議員、中村龍治議員
多可町議会 足立吉継議員、山本和樹議員
西脇市議会 藤原秀樹議員、寺北建樹議員
- (5) 議長の選挙 寺北建樹議員（西脇市議会）当選
- (6) 会期 1日間

2 議案審議の内容及び結果

(1) 第1号議案 令和7年度一般会計補正予算（第1号）【資料2】

【議決結果】可決（全会一致）

① 補正額

補正前 2,818,920千円 補正後 2,827,068千円 増減額 +8,148千円

② 主な歳入

分担金及び負担金 +4,161千円

財産収入 +3,714千円（高規格救急自動車2台売払収入）

繰越金 +12,327千円

組合債 △14,000千円（救急車及び庁舎LED改修事業の精算による減）

③ 主な歳出

消防費 +14,739千円（人件費増ほか）

公債費 △5,969千円

本補正は、主に人件費改定及び事業費精算に伴う調整を行うものである。

（2）第2号議案 給与条例等の一部改正

【議決結果】 可決（全会一致）

① 改正理由

一般職の職員の給与に関する法律等の改正に準じた制度改正。

② 主な改正内容

- ・昇給の標準号給数を一律4号給へ見直し ・通勤手当引上げ（上限66,400円）
- ・駐車場利用者への加算（月額上限5,000円） ・期末手当・勤勉手当の支給月数引上げ
- ・地域手当支給割合を4%へ引上げ

（3）第3号議案 火災予防条例の一部改正

【議決結果】 可決

① 改正背景 大規模火災及び林野火災の発生を踏まえた防火対策強化

② 主な内容

- ・簡易サウナ設備の定義及び安全基準新設 ・感震ブレーカー普及促進
- ・林野火災注意報発令規定新設

（4）第4号議案 令和8年度一般会計予算【資料3】

【議決結果】 可決（賛成多数・反対1名）

① 予算総額 2,533,724千円（前年度比△285,196千円）

② 主な特徴

- ・分担金増額 ・組合債皆減（車両更新事業終了） ・人件費増（+121,639千円）

③ 債務負担行為

水槽付消防ポンプ自動車購入（令和9年度）101,123千円（令和8年度～2年間）

(5) 同意第1号 監査委員の選任

【議決結果】 同意（全会一致）

足立 吉継 氏（多可町）

3 その他報告事項

(1) 議長交際費支出基準の制定

議会運営の透明性確保を目的に、議長交際費の支出基準を明確化。

- 支出区分：弔慰金、見舞金、祝金、手土産代、その他
- 支出限度額：弔慰金・見舞金・祝金：各10,000円、手土産代：5,000円
- 毎月ホームページで公表

(2) 高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の寄贈

- 令和7年10月 多可町住民 様 奥様が救急車にお世話になったため

高規格救急自動車1台及び高度救命処置用敷機材一式（5,000万円）

令和8年 西脇消防署本部に配備

→多可南出張所に西脇消防署本部の現在使用救急車（令和5年）を移動配備

- 令和8年1月 西脇多可医師会 様

救急ナイトスクール開催時に消防署にお世話になったため

高度救命処置用資機材一式（41万円）

西脇多可の講習会に使用予定

(3) 職員の運転免許失効事案及び再発防止策

50代管理職職員 免許期限 令和8年2月9日

2月10日～2月22日失効状態 公用車10回、通勤

再発防止対策：運転免許確認が形骸化、しっかりした確認運用を作り実施する。

参考資料 【資料1】

火災・救急・救助の概要 令和7年1月1日～令和7年12月31日

研修報告書

林 晴信

人口減少社会における地域の課題

【講師陣】

熊本大学 教授・副学長 金岡省吾氏

熊本県八代市 経済文化交流部 商工政策課 主幹兼企業立地推進係長 小早川正人氏

同課 雇用創生係長 鶴山朋子氏

熊本大学 政策研究員 境一磨氏（熊本県菊池市からの派遣）

第1日目（2月2日 12:30～17:00）

■地方創生とは→人口減少のメカニズム 金岡省吾氏

■人口減少が引き起こす地域課題 金岡省吾氏

■地域課題解決をビジネスで！ 鶴山朋子氏

第2日目（2月3日 9:00～14:10）

■ローカルイノベーションの卵が若者意識を変容 境一磨氏・金岡省吾氏

【所感】

講義の合間に隣席の参加者と話し合うスタイルの研修だったが、当初募集の70人に、参加したのは170人だったので、講堂使用となり、音は籠るわ反響するわで、ザワついており、隣の参加者の声もよく聞き取れないものだった。沖縄のゴザスタイルのワークショップならもう少し考えてほしいところだった。

最初の地方創生についての講義は、極めて初級者向けの物足りないものだった。恐らく市民向けのものだったのかなと思う。これは他の参加者も言っていたので、私だけの感想ではないだろう。

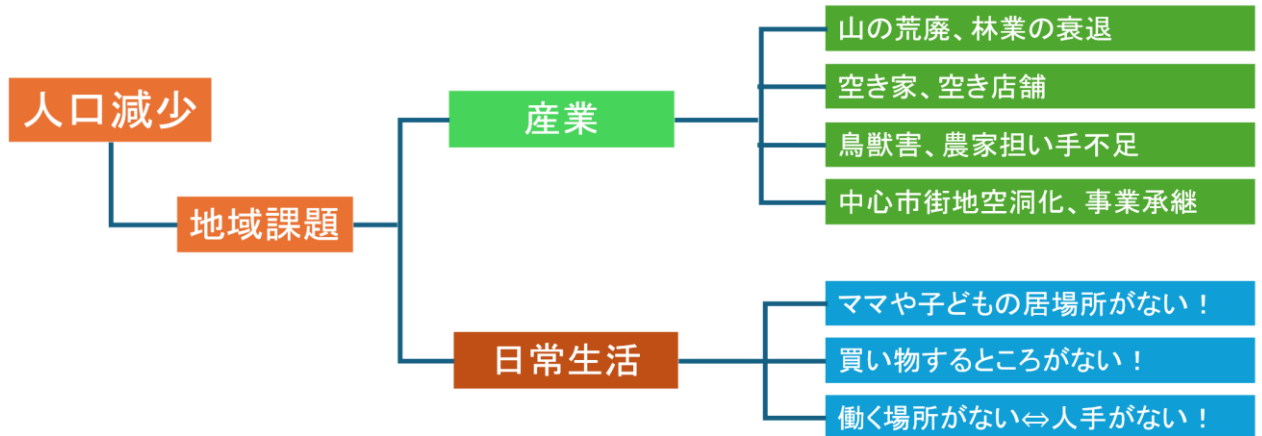
国の掛け声で始まった地方創生だが、私の知っている限り成功を収めている自治体はほぼないと認識している。人口減少の日本の中で、人口増だったり、人口横ばいの自治体例は少なからずあるのだが、地方創生の政策プランのおかげと言えるところを私は知らない。とはいえ「人口減少問題」のテーマだと全国からこれだけの人が集まるのだから、多くの自治体議員が何かヒントを模索しているのだろうと思う。

ただ、東京都下の女性市議が言っていたのだが「地域に若者を縛り付けることは正しいことなのか」、「親としては自分のこどもには都会や海外で活躍してほしいと願っている」との言葉には同意できる。これは講師の金岡教授も再三再四「都会に出て行っていいですよ」と話していた。「でも地方で頑張ることも格好良いと思ってもらえる取組を目指しています」とも金岡教授は話している。

今回の研修は、将来的には人口増あるいは流出歯止めを期待する取組と、人口減少下における地域経営や新しい公共の担い手としてのビジネスについて、八代市での事例などを参考にしながら考えるというものだった。なお、西脇市にすぐさま取り入れられるかどうかは疑問もあるが、こうやったら可能ではないかと考察も後で書いてみたいと思っている。

参考事例の九州全体を将来人口メッシュで可視化してみると、人口増で赤くなる地域が大きく2つある。一つは誰もが想像できる福岡市周辺、そしてもう一つが熊本市から阿蘇山に向かう線状のエリアだ。話題の台湾半導体企業TSMC進出により、ゴールドラッシュ状態にあるエリアである。半導体ファウンドリがここまで隆盛になるなら、西脇市もKTIやマイクロンがもう少し粘ってくれたらと思うが、いまさらどうしようもない。こんな僥倖は西脇市で期待することは可能性として難しい。今回の事例である八代市もTSMCの恩恵を受けるには少し遠く、地理的には熊本市のかなり南、宮崎県にも面しており、海を挟んで天草市の隣にある人口11万人の市ではあるが、面積が約681km²と小野市から多可町までの北播自治体を足した面積並みに広く、周辺部は中山間地域もあり、ご多分に漏れず人口減少が止まらない自治体である。ただ、鹿児島本線や九州新幹線の駅もあり、都市間交通は西脇市より随分と良い。

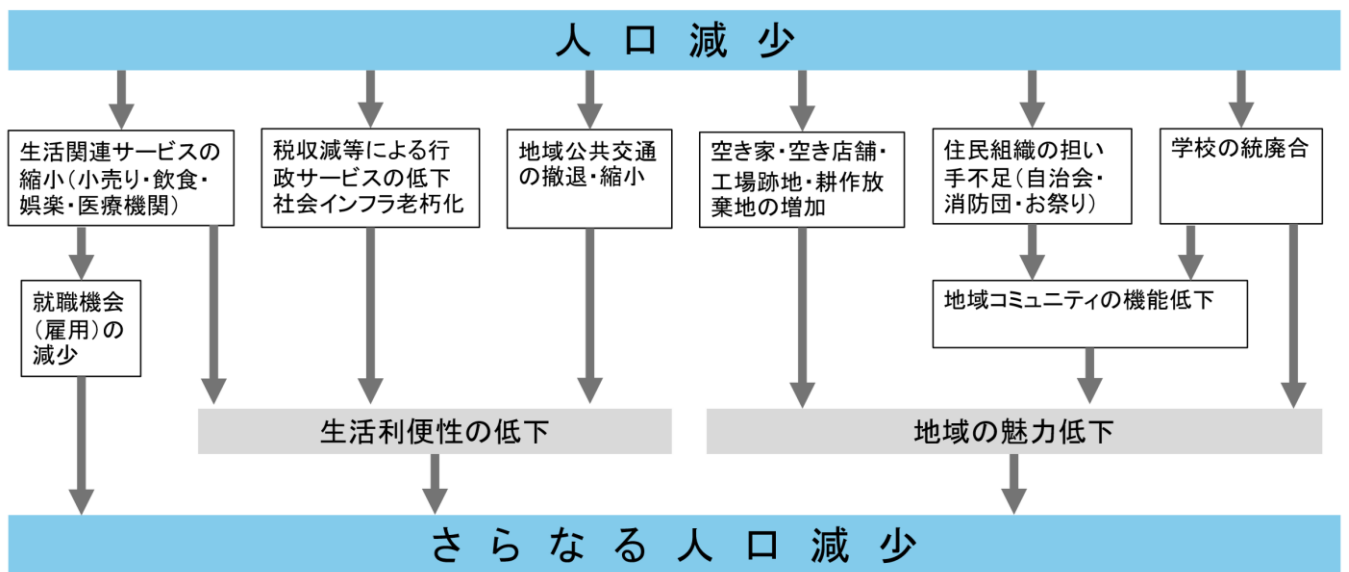
人口減少が起因となり生じる地域課題



人口減少が起因となり、上図のような地域課題が出てくる。西脇市もそうだし、全国の小規模地方都市は一部を除きみな同じである。私も昨年6月や9月、そして改選後の12月議会の一般質問でも述べてきたとおり、人口減少の負のスパイラルに入ると、地域課題がどんどん顕在化していき、さらなる人口減少を招くのである。

図にするとこんな感じになる。

人口減少 負のスパイラル



この地域課題を一気に全て解決するのは不可能だろうし、全て解決したからといってすぐに人口減少が増加に転じるわけでもない。だからといって対処を怠っていると人口減少は加速度を増すのである。このあたりが各自治体の頭の痛いところだろうと思う。国からの指示で、錦の御旗で進めている立地適正化計画（コンパクトシティ論）などは、考え方は理解できるが、前から言っているように行き着く先は、全員神戸へ移住、大阪へ移住、東京へ移住となるのである。田舎に住んでいること自体が全体のコスパを悪化させている。田舎に投資することはムダ！ということにつながるんだろう。実は研修でも滋賀県の男性

市議が手を挙げて滔々と「周辺から中心へのコンパクトシティ政策が正しい」と語っていたが、金岡教授は「その考え方は合理的で正しいですよ、正しいですが、それだと私の天草市はなくなってしまうんですよ」と話されていた。「地域を残すことを考えよう」という姿勢と考え方に私は大いに溜飲を下げたものである。

で、肝心の八代市の戦略だが、全国と同じように総合戦略を策定しつつ、熊本大学熊本創生推進機構と連携、さらに市内金融機関や経済団体等と協力する体制を構築した。ここまで聞くとどこにでもよくある話である。西脇市も関西学院大学や兵庫県立大学と包括連携協定を結んでいる。で、何が為せたのかということと記憶に残っているようなものは何かあったかな？と考え込むくらいである。学生さんたちがフィールドワークをして、何か発表してたり、イベントしてたりしてたなあという記憶がある程度である。

八代市は「やつしろ未来創造塾」というものを熊本大学と共催で作りあげ、そこに市内金融機関（融資相談等）や経済団体（経営相談等）を巻き込んで展開している。

やつしろ未来創造塾が目指すもの

地域を取り巻く環境(人口減少・少子高齢化)といった地域課題から内需を生み出し、地域経済の循環を生み出すことが重要で、
地域課題をビジネスで解決していくことが目標、八代地域の地域課題を考え、地域課題解決の全国の事例を検証してヒントを掴み、何ができるのかをみんなで考え、一人ひとりが地域課題と企業の営利活動の共通項(CSV)を探し出し、
本業を活かしてできるプロジェクト育成を目的としています。

やつしろ未来創造塾は現在までで5期生が在籍し、年間のスケジュールとしては8月に開講して2月の修了式までを1期としている。年間の受講料は1万円。そして八代市の事業予算は年間約150万円とのことだった。なお、この未来創造塾は全国に12団体あり、うち熊本県にも八代含め6団体(阿蘇・玉名・菊池・天草・山鹿)がある。つまりノウハウの蓄積があるし、メンターとしての金岡教授の指導力もかなりのものがあるのだろうとも思った。「地域が生き残るため、地域で稼ぐプレーヤーの創出へ」というフレーズは刺さるが、具体的にどうやって？という手法やノウハウが西脇市にもないように思えるので、こういう未来創造塾のようなものがあればいいなとも思う。本業を活かして、あるいはそのニッチでソーシャルアントレプレナーシップを生み育てる環境づくりは西脇市でも必要なのではないかとも思う。

5年経って、具体的に八代市で何ができたのかというと、金岡教授は「ほんとに小さいことばかりなんです」と前置きをされていた。そもそも大きなプロジェクトよりもスモールビジネスをたくさん生むことが大事なのだから、それで良いと思える。解体業と建築業の塾生が組んで、地域の拠点づくりを含む空き家ビジネスを始めたり(不動産業も第二創業されている)タクシー会社の塾生が買い物難民、高齢者世帯向けの買い物代行や見守りサービスを始めたりしている。それぞれが地域の課題と自社の課題を解決(CSV=Creating Shared Value 共通価値の創造)を目指して取り組んでいる。面白いなと思ったのが、待機児童の増加・子育て世代の集う場がない(地域課題)とスポーツクラブ運営会社の幼少期のスポーツ離れ・会員の減少(自社課題)を学童保育+サッカー/ダンスの指

導で解消しようとする取組だった。これはさらに「放課後児童教室」のような行政の事業とも組み合わせられるかもしれない。さらにそこで新たに、徒歩で通えない児童・保護者（地域課題）の発生が、タクシー運営会社の学童送迎開始という事業につながったりしている。つまり塾生たちがつながり、新しいCSVを共創するという好循環が生まれているとのことだった。「地域・市民・企業のすべてがWin-Winの関係性を築くことが大事」とも力説されていた。

■地域課題解決事業推進に必要な支援■

中小企業庁「地域課題解決事業推進に向けた基本方針」

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/chiiki_kigyou_kyousei/2024/20240301_01.pdf

地域課題解決事業を推進するためには、ローカル・ゼブラ企業と地域の関係者をつないで事業を地域に根付かせていく役割（地域中間支援）と、ローカル・ゼブラ企業や地域を専門的な立場から伴走支援する役割との双方が必要である。地域エコシステム同士で学び合い、ノウハウを共有・横展開していくことも効果的である。

※ローカル・ゼブラ企業

地域の社会課題（人口減少、高齢化、産業衰退など）をビジネスの手法で解決し、社会的インパクトと経済的持続性（利益）を両立させる中小企業・小規模事業者のこと

中小企業庁 ローカル・ゼブラ事業の概要

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/chiiki_kigyou_kyousei/2025/local_zebra.html

※地域エコシステム

特定の地域において企業、自治体、住民、NPOなどの多様な主体が、デジタル技術や地元のリソースを活用して相互に連携・共創し、持続的な経済循環や社会課題の解決を目指す「関係の生態系」のこと

上記のような中小企業庁の指針をかみ砕いて、このやつしろ未来創造塾でソーシャルアントレプレナーシップを学び、集い、連携するような好循環システムを作り上げているように思えた。

■高校との連携事業

さらにその未来創造塾と高校の連携も始まっている。「カッコいい大人（ローカルイノベーター）との関わりで高校生の意識を変える」を目的として、ローカルイノベーターと関わることで、将来帰ってきたい、あるいはたとえ地域に帰って来なくとも関係人口として都会から地方に関わりたいと思うなど、地域から必要とされる次世代CSV人材の育成を図るという事業のようだ。令和7年度は八代高校をはじめ、九州地区の13校で行っているとのことだった。具体的には探求学習の時間を使った塾生たちからの講義やグループワークが中心のようだが、後にはフィールドワークやインターンシップなども考えているようだ。つまりここから生み出されるものが攻めの「人口減少対策」なんだろうと思う。

さて、では西脇市に何が導入できるのか？

未来創造塾のようなものは西脇市で可能なのか。

物理的には可能であると考える。

この取組で必要なのはメンター（導師・大学教授など）とコーディネーター（市の職員など）そこに中間支援組織や商工会議所、金融機関などの協力である。メンターは前述したように西脇市も大学と連携しているし、今やどこの大学でも公共政策学部や地域経営学部などは花形ともいえる。探せばメンターに事欠くことはないのではないかと思える。財政的にも八代市で年間予算 150万円規模なので、それほど課題になるとも思えない。あるとすれば人的配置の問題か。八代市や菊池市は市長が率先して取り組んでいると聞いた（だから職員も大学にまで派遣している）あとはやる気の問題といえる。西脇市としては他のアプローチもやっていることだと思うが、私は取り組むべき要素は多いと感じた。